

写真が語る 秋商100年

～令和2年 秋商創立100周年記念～



勝平校舎(1978～)

発刊にあたり

秋田市立秋田商業高等学校
第23代校長 山脇 聡

心の故郷「秋商」創立100周年を記念して、主に学校側主導で「100周年記念誌」を、計画通りに刊行しました。皆様ご承知のとおり、令和元年度末から続く新型コロナウイルスの脅威により、記念式典、記念講演会、各種招待試合や記念祝賀会は、令和3年9月に延期になりました。

しかし、秋商出身者（高30期）である私が、1年限りの任期にもかかわらず、記念すべき創立100年に母校に勤務させて頂き、新型コロナウイルスにより若干の時間的猶予を預けられました。

その貴重な時間を雄水会長鈴木茂夫様をはじめ、副会長の方々と母校100年の思いを巡らす貴重な機会に使わせて頂くことができました。真に、起こりえることすべて善きことで、その機会の中で雄水会副会長の有田正司様から、秋商100年のそれぞれの時代を彩る写真が存在するとのお話を伺いました。

周年記念誌はその作成意図から、お寄せいただいた有り難いお祝いのメッセージや回想など、文字情報がどうしても多くなります。同窓各年代とも、その年代特有の理由により、お寄せ頂いたすべてを読み切ることは難しい状況になっています。

そこで、この写真を「100周年記念誌」の別冊として、「写真が語る 秋商100年～令和2年 秋商創立100周年記念～」として発刊してはと申し上げたところ、有田正司様からは、私にだったらこのすべてを委ね、使い方についてもすべてを任せるという有り難いお言葉を頂きました。

さらに雄水会長鈴木茂夫様も納得され、写真の隅々を点検なさり、硬式野球部の古城先生や今川先生のもっといい写真があるはずだなどのご助言等を頂きました。また、写真がなかった「中通校舎」の写真を、自分の母校だからとおっしゃり、自ら酷暑日に中通小学校まで出かけ、写真を拝借し、校長室まで届けてくださいました。

このようにこの写真集は、雄水会会員の皆様の善意により発刊されるということをご理解いただき、手に取られる皆様がそれぞれ、心の故郷「秋商」の歴史を視覚で感じてくだされば望外の喜びであります。

記憶は あの校舎
思い出は この校舎の中
青春はいつも あの頃
そして、 皆で歌おう
心の故郷「秋商」を

旧 校 舎



中通校舎(1920～24)
現在は秋田市立中通小学校



樽山校舎(1924～46)
現在は樽山緑地公園



土崎校舎(1934～42)
現在の秋田県立中央高校付近



茨島校舎(1945～57)
現在の秋田市教育研究所



八橋校舎(1957～78)
現在は秋田市保健所・サンライフ秋田

大正時代の秋田市



上は大正7(1918)年の秋田市。千秋公園から西側の風景。
手前の大きな建物は当時公園の下にあった秋田赤十字病院。
その向こうが保戸野中町。遠くに見えるのは、寺町の寺の屋根。
1920(大正9)年の秋田市の人口は36,281人(6,736世帯)。
土崎と新屋はまだ秋田市ではありません。

左は大町3丁目。左の建物は明治45年竣工の秋田銀行本店
(現在「赤れんが郷土館」)。

左は通町。当時、秋田の商業の中心地でした。右手前の店は
佐野薬局。

下は、茶・紙・荒物を扱う西村福蔵商店の店内。当時の商店の
様子が分かります。



※以上の写真は、「秋田県史第4巻」・今村義孝編「写真集秋田」・ネット「二〇世紀ひみつ基地」より。

1918(大正7)～1920(大正9)年 秋田市商業学校 設立



井上広居(ひろやす) 1864-1956

「市長は市民の公僕であるから、何人も気軽に会えるようにしなければならない」と、玄関横の粗末な部屋を市長室にし、受付だと思って入った来客はみな驚いたといわれています。

1918(大正7)年、秋田商業会議所の要請を受け、秋田市長井上広居(ひろやす)が商業学校設立に向けて動きます。秋田市政30周年事業として設立しようとしたが財源がありません。そこで井上市長は「富豪篤志家の寄附金」で学校を建てようと考えました。これに対し、もしお金が集まらなかったらどうする？ 時期尚早ではないか？ と市議会は紛糾します。

結局1919(大正8)年7月11日、賛成14・反対13で商業学校設立が決まります。全国で81番目、東北では6番目の設立でした。

個人77名・法人7社から多額の寄附が寄せられました。



右は当時の秋田市役所。橋は通町橋。



黒沼義介(ぎすけ) 1875-1950

井上市長が初代校長として招いたのが黒沼義介(ぎすけ)です。

徳島県立商業学校の初代校長、北海道庁立小樽商業学校の初代校長を歴任した、いわば商業学校設立のプロフェッショナルともいべき人物でした。

設立当初、黒沼校長が掲げた「校訓」

- ・四恩を感謝すべし
- ・至誠勤勉を旨とし、各人の本分を盡すべし
- ・体育を重んじ、心身を鍛錬すべし

「四恩」は仏教用語で「父母・国王・衆生・三宝」をさします。徳島商業・小樽商業でもこの校訓をかかげています。

現在の校訓「感謝・勤勉・鍛錬」は、2002年に新たに制定されたものです。



左は中通尋常高等小学校。

1920(大正9)年3月、秋田商業学校はこの校舎の一隅を借りてスタートします。5年制でした。

定員50人に対して232人の志願者が集まりました。そこで定員を倍の100人に増やして入学試験で選抜し、1920(大正9)年4月25日に開校式を行いました。(この日が開校記念日)。

翌年も志願者は減らなかったため、当初計画の全校生徒250人をその倍の500人に拡大することになり、人々の関心の高さがうかがえます。

1924(大正13)～1946(昭和21) 櫛山校舎の時代

1924(大正13)4月、設立から4年目にしようやく校舎が完成します。現在は櫛山緑地公園となっています。



秋商の校章は、創立間もなく荻津謙治教諭によってデザインされました。

その基本モチーフは、①世界に雄飛する翼、②英知と聡明の象徴である蛇、③マーキュリーの杖(ローマ神話のマーキュリー・ギリシャ神話のヘルメスは商業と学術の神)



左は青年時代の黒沼義介。

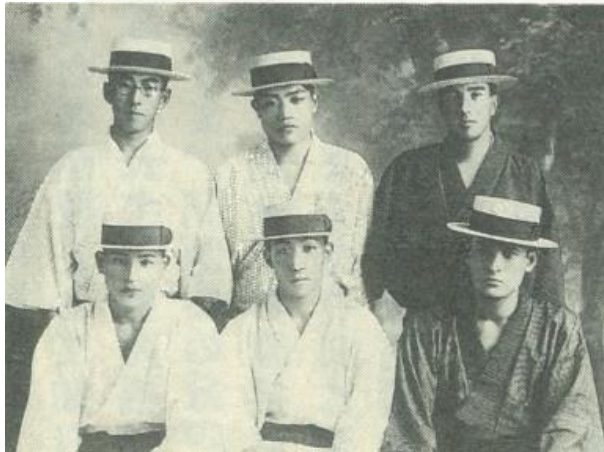
黒沼義介が東京高等商業学校(後の一橋大)を卒業したのは明治31年。この時期の明治の知識人には開明的な人物が少なくありません。西欧列強諸国の「市民」のように、自分の頭で考え自分の意志で行動できる「個人」を育てることが日本の課題であり、教育者の使命である、ということを学んだ人々です。黒沼義介もその時代の精神を持った人だったに違いありません。

【黒沼校長のエピソード】

- 学校には「校訓」以外にこれといった規則はなく、生徒たちの制服も自由で、先生たちの出勤簿もなかった。
- 校舎では、各教室に組の表札がなく、校門には学校名の表札もなかった。そのわけを尋ねると、黒沼校長は、「学校は家だから家の中に表札は不要。門に表札がないのは、それがなくともここが秋商だと誰もが知っているような存在になるため。」と答えたという。
- 毎月1回天気のいい日には全校で遠足に行く習わしがあり、晴れた日の朝には生徒たちが机をバタンバタンと鳴らしてアピールし、そのあと生徒代表が校長室にお願いに行くと、黒沼校長はいつも笑顔で「よかろう」と許可するのが恒例だった。「生徒の浩然の気を養うのである」と言っていた。バタンバタン遠足と呼ばれた。
- 黒沼校長が修身の授業をしていたとき、いつもの癖で窓を開けて「かーっ、べっ」と痰を吐いた。するとある生徒が「校長先生は窓からたんぺをしてもいいのですか？」と質問した。「そうか、その通りだ。わしが悪かった。」と言い、以後ぴたりとその癖をなおして、その生徒の修身の点数は10点加算された。
- 剣道の試合を前に、有力な選手が落第したため試合に出られなくなった。そこで「校長先生のお情けを頂戴しよう」とお願いに行ったが、黒沼校長から、「人生は長い。そんな小さな事で頭を悩ますより、もっと大きな目を開きなさい。」と諭された。



【第1期生卒業】 設立から5年後の1925(大正14)年、第1期生51名が卒業します。入学した人数の半分です。



左は卒業1年後の写真です。

後列左・高橋政雄はのちに秋商第4代校長となります。

後列右・佐々木惣一郎はのちに秋田商工会議所会頭、秋商雄水会第3代会長となります。

黒沼校長は卒業生から揮毫を頼まれるとよく次の書を与えたといわれます。

しょうようとしてぎなんにつく
「従 容 就 義 難」

「校訓のなかにある『各自の本分を盡(つく)すべし』とは、個人の意志の尊重であり、決して押し付け、命令ではありません。

自分で考えて自分の生きる道だと決めたら、全力で進めということでしょう。金銭や利己的なもの、世の人が名声と呼ぶすぐ消えてしまうもののためでなく、男子としてあるべきものの達成のために。」(秋19期・佐藤寅太郎)

【 甲子園 初出場 】 1925(大正14)年8月、創立から5年目で秋商は初の甲子園出場を果たします。

右の写真は1925(大正14)年7月、秋田市榴山球場で行われた東北3県(青森・秋田・山形)予選で優勝したときのもの。

大阪の宿は秋田中学野球部の先輩が手配してくれたそうです。

甲子園での対戦相手は北陸代表・敦賀商業。延長11回、4対5で惜しくも敗れます。

「甲子園のあまりの広さに気が遠くなるようだった」、という選手の感想が残されています。



【 厳しい授業 】

右は添田一二教諭の英語。

「一人ずつ前回やったことが質問され、答えられなければ容赦なく廊下で自習させられた。真冬の廊下がいちばんこたえた。年に36回も抜打ち試験があって、今でも試験の夢を見ることがある。」(卒業生の回想)

第1期生は入学した人数の半数が落第しました。

「実力のない者を社会に送り出しては秋商の名誉に関わる」(黒沼校長)



【 ストライキ事件 】

1928(昭和3)年4月、「ストライキ事件」が起こります。

5年生を中心に多くの生徒たちが登校を拒否して公園に集まった事件で、新聞にも載りました。

生徒たちの要求は、添田先生は厳しすぎるからもっと優しい先生にかえてほしい、というものです。

黒沼校長は、「生徒側で非を悟るまでは放任しておくほかはあるまいが、父兄や卒業生ではいろいろ心配してくれているから、今になんとかなるだろう。」と泰然自若たるものでした。

結局、5日後に生徒たちは学校へ戻り、事件は終わります。



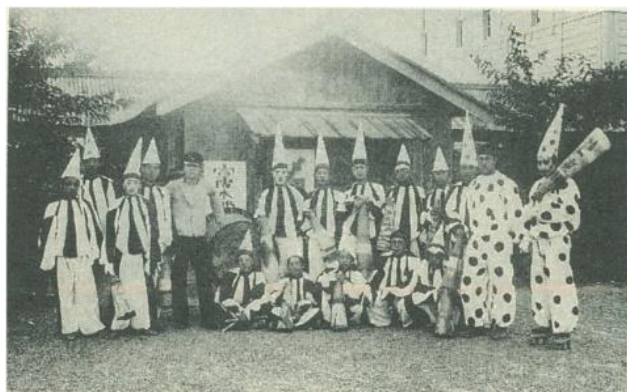
【 校歌 】「秀麗の山鳥海は…」の秋商校歌は、1929(昭和4)年に誕生しました。

作詞は秋商教諭(国漢)の岩谷嘉市(右写真)です。秋商同窓会を「雄水会」というのは、歌詞の「浩漚の水雄物川」からきています。作曲は成田為三。「浜辺の歌」「歌を忘れたカナリヤ」などが有名です。北秋田市米内沢の出身で、秋田師範学校時代の同級生が秋商教諭にいたことからその縁で快く作曲を引き受け、あの名曲が誕生しました。

【 創立10周年 】

1930(昭和5)年、創立10周年記念バザーが開催され、宣伝隊が秋田市内を練り歩きました。

バザーの売上は1万円(現在の1千万円?)を超えたといわれていますが、かなりの誇張かと思われます。



【 秋商リードバンド 】

右の写真は1931(昭和6)年の「秋商 リードバンド」。

部員は20名で「毎日猛練習」を続けたそうです。

秋田中学・秋田工業学校と共演で、記念館での音楽会・連隊慰問演奏会・秋田放送局でラジオ放送もしています。

レパートリーは「軽騎兵」「小さな支那人」「シカゴの美人」「バグダッドの酋長」「サンチャゴワルツ」「アメリカンパトロール」など。



第2代校長

【 皆川 一 】

皆川一(はじめ)は、25歳の時赴任先の小樽商業で当時校長だった黒沼義介と出逢い、後に秋商校長となった黒沼の招きで秋田商業に赴任。

11年後の1933(昭和8)年、第2代校長となり、18年間校長を務めました。

秋田商業で実に29年を過ごしたことになります。

特にその校長在任期間(1933～1952)は秋商の歴史の中でも最も困難な時期に当たります。しかし皆川校長は驚異的なしなやかさで その過酷な時代を乗り切っていきます。

【 剣道 全国制覇 】 1933(昭和8)年、秋商最初の全国制覇が剣道部によって達成されました。



東京文理科大学主催全国中等学校剣道大会で優勝します。

「秋田についたのは翌日の午後、美しい秋晴れだった。選手を先頭に全生徒は応援歌を歌いながら徒歩で市内を行進。広小路、通町、大町、長町を通って、亀ノ町の母校に着いた。」

(「秋商剣道七十年史」)

左は、凱旋風景。

【 甲子園 ベスト8 】 1935(昭和10)年8月全国中等学校野球大会で秋商は準々決勝に進出します(ベスト8)。



赤根谷飛雄太郎の投球フォーム



二盗を封じるショート滝田(対愛知商戦)

【 雄水会 】

秋商同窓会「雄水会」は第1期卒業生によって1925(大正14)年に設立されました。

1935(昭和10)年11月には東京雄水会発会式が日比谷松本楼で行われました。80名ほどが参加し、懇親会では先生の声帯模写などの余興で大いに盛り上がったと記されています。

右は1936(昭和11)年8月に母校で行われた第12回雄水会総会。



【 土崎商業学校合併 】 1942(昭和17)年4月、土崎商業学校が秋商と合併します。

かつては日本海側が物流の主要ルートで、北前船(きたまえぶね)が発着する土崎港は秋田市よりも繁盛していたといわれ、土崎の商人達には日本中を相手に商いをしているという気概と誇りがありました。その土崎の商人たちが地元の子弟を教育するために町立の商業学校を設立したのは大正9年(秋商設立と同年)でした。

右は土商の校章。現在土崎神明社にあります。

下は高清水公園麓の校舎。日本海を見渡すことができました。



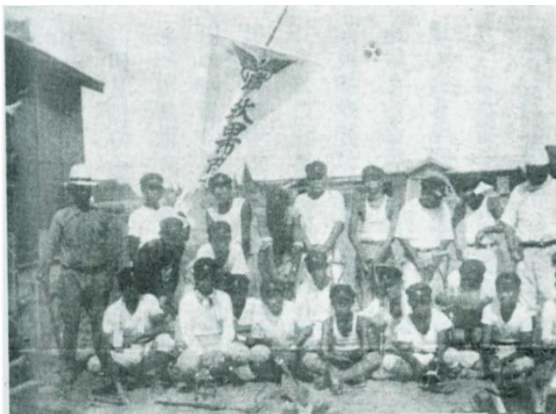
昭和16年、土崎町と新屋町が秋田市に合併され、翌年、土商は秋商と合併(実際は吸収)ということになってしまいます。これに反発した当時の土商4年生たちは、合併の説明に来た市の助役一行を取り囲んで強く抗議しました。

皆川校長は生徒たちを力で押さえつけることをせず、ひとりひとりと心を通わせることに努めました。

【 勤労働員・軍事訓練 】 1938(昭和13)年頃から勤労働員が始まります。

日中戦争は拡大を続け、多くの国民が兵士として戦線に送り出されて国内の労働力が不足したため、生徒たちが農作業、道路補修、川の改修、石炭運搬、飛行場の地ならし、などに動員されました。テニスコートで野菜を栽培、との記録もあります。

やがて小坂鉱山・尾去沢鉱山、さらには県外の軍需工場へも動員されるようになっていきます。



軍事訓練も行われるようになり、重装備で能代や本荘まで行軍したり、実弾射撃も行われました。



【空襲】 1944(昭和19)6月から米軍による本土爆撃が開始され、国内200都市がその標的となりました。



昭和19年7月、群馬県の中島飛行機工場に動員されていた秋21期生の記録です。

「・・・炸裂音のたびに壕の土は崩れて、頭といわず背といわずふりかかる。日頃教えられているように、両手の親指で耳をおさえ、残りの指で目をおさえて口を開く。真っ暗な壕、天が裂けるような爆発音とともに相当量の土が側面からくずれる。神の加護を念ずる。足といわず頭といわず、しがみつかれる。しがみつく。ただ、生きたい、と祈る・・・。」

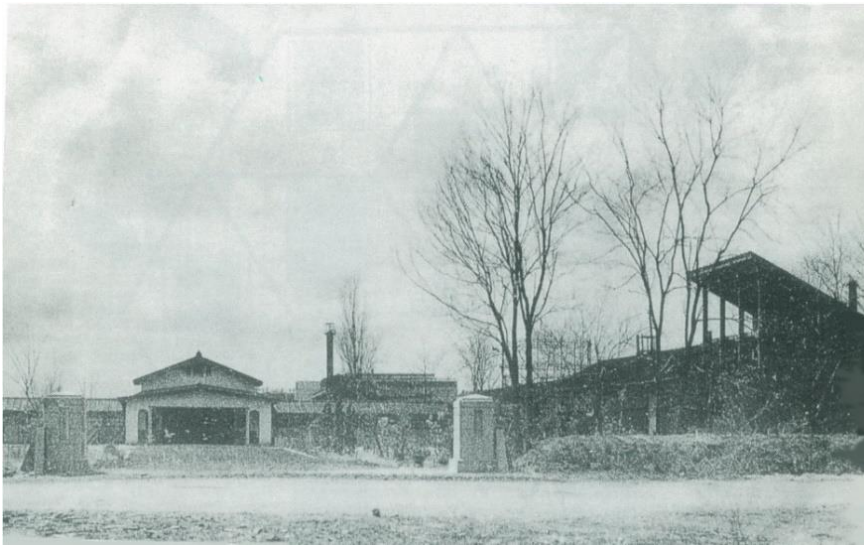
秋21期・高桑博(「心の故郷秋商-卒業50年目の回想文」平成7年)

下は1945(昭和20)年3月31日、秋21期卒業式後の写真といわれています。このなかに動員先での爆撃を生き延びた人たちもいる筈です。戦争はまだ終わらず、勤労動員に明け暮れ、徴兵を目前に控え、この先どうなるのか全く分からない時代の1枚の写真です。



1946(昭和21)～1957(昭和32) 茨島校舎の時代

【 茨島(ばらじま)校舎 】



戦時の国策で秋商は廃校されることとなり、校舎は県立女子医学専門学校に譲渡されました。

しかし1945(昭和20)年8月に戦争が終わり、秋商は存続することになりました。

ところが、檜山校舎はすでに女子医専のものとなっており、秋商は敗戦で廃校となっていた「秋田日満工業学校」跡地に移転させられることとなりました。

現在の茨島交差点付近です。



【 スポーツ再建10年計画 】 1948(昭和23)年から「スポーツ再建10年計画」がスタートします。

廃校はまぬがれたものの、廃屋のような校舎に移転させられ、生徒募集しても定員に満たないという状態がしばらく続きます。

「このままではいけない。秋田商業を立て直すにはどうしたらいいだろう。／そして考え出したのが『スポーツ再建10か年計画』である。それは、10年以内に野球・剣道・柔道・サッカーのどれかを全国優勝させるというもので、どれか一つでも全国優勝できれば、秋田商業の名前が有名になる。有名になればOBや地域の人々の関心を集めることができるし、いい選手も集まってくる。もちろん、いい生徒も。」内山真教諭(「蒼穹14号」)



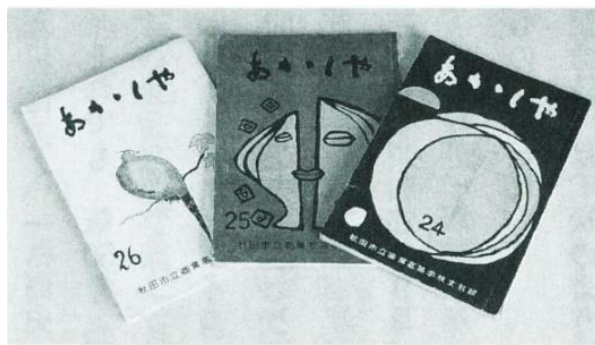
「当時はよく窓から出入りしたもんだが、それを大将が見張っていて、とっ捕まえて無理やりサッカー部に入れられた奴がいっぱいいた。」高8期・川口房男(談) (内山真教諭は軍隊で戦車部隊だったのではじめは「タンク」、のち「大将」のあだ名となった。)

【 女子生徒入学 】

1948(昭和23)年、初めての女子生徒4名が入学します。

職員会議では「女子生徒の入学は時期尚早」との声が圧倒的でしたが、皆川校長の鶴の一声で決定したといわれています。

「私たちは空き時間にミス秋商の選挙をした。小さな白紙に自分の好きな女生徒の名前を書いて投票した。ミス秋商には決まってテニス部の女生徒になった。」
高山修一(高3期)(東京雄水会会報40)



昭和23年に文芸部誌「あかしや」が創刊されました。

茨島校舎の周りにはアカシヤの大木が群生しており、春には空を染めるほど白い花が咲き乱れていたといわれます。

昭和25年に生徒会ができます。

左は立候補者のポスターを見る生徒たち。

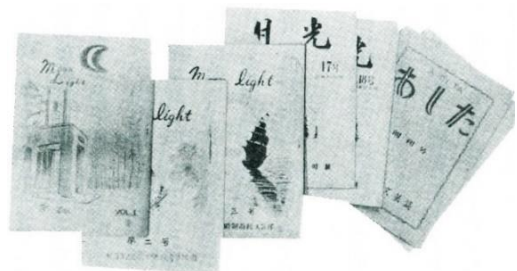


【 定時制 】 定時制課程は、働きながら学ぶ人々のため授業は夕方から夜9時頃まで、4年制の教育課程です。



1948(昭和23)年、秋商に定時制課程が設立されました。近隣には工場や関連の会社が多く、そこで働きながら学ぼうとする若者が多かったことによりです。(写真は1973年頃八橋校舎定時制教室)

1948(昭和23)年に文芸誌「ムーンライト」(のち「月光」と改名)が創刊されています。



【 珠算部 】

右は1950(昭和25)年9月、創立30周年記念珠算競技大会。

中央に立っているのは中野谷鉄雄教諭(土18期)。長く秋商珠算部を指導しました。

昭和37年ころ珠算部員は120人もいました。合宿では、食事と1時間の運動の時以外は、常にソロバンを手から離さなかったそうです。

小中学生も真剣に見つめています。当時は町の珠算塾も大盛況でした。



「秋商我と共にあり」、この言葉は皆川一校長がクラス対抗の優勝チームに与えた賞状に揮毫したのが最初です。昭和27年、この言葉を残して皆川校長は29年間いた秋商を去ります。

【 剣道全国優勝 】

1955(昭和30)年8月の全国高等学校剣道大会(大分)「しない競技の部」決勝で、岡山県鏡野高校を破って優勝します。22年ぶり2回目の全国制覇でした。

戦後、「剣道は軍国主義的である」としてGHQによって禁止され、「しない競技」としてズボンに運動靴で行われました。

右写真中央は加藤正治教諭(秋17期)



【 サッカー全国優勝 】 1958(昭和33)年1月全国高校サッカー選手権大会で初優勝。



東北に初の優勝旗をもたらすこととなりました。

左は秋田駅前での凱旋風景ですが、なにやらしんみりしています。選手たちが涙をこらえているように見えます。内山監督もそうかもしれません(旗の左の背広の人)。

スポーツ再建10年計画のちょうど10年目にあたります。

1957(昭和32)～1978(昭和53) 八橋校舎の時代

【 やばせ 八橋校舎建設 】

秋商と雄水会は「新校舎建設促進委員会」を結成し、委員長・佐々木惣一郎(秋1期)(雄水会会長)を中心に運動を展開します。

候補地は4か所ありました。①手形(現在秋田高校の場所)、②川尻(現在市立病院の場所)、③寺内(現在の高清水中向い)、④八橋(やばせ)

結局 ④八橋 に決まります。当時はまだ県庁・市役所もなく一面田んぼでした。

1957(昭和32)年3月、茨島校舎からの引っ越しが全校生徒によって行われました。片道3キロを長蛇の列で、何往復もしたそうです。



佐々木惣一郎



【 高橋政雄 】

高橋政雄は秋田商業第1期生。小樽高等商業(小樽商大)に進み、三井銀行に就職しましたが陸軍に召集され退役後に秋商教諭となります。その後何度も召集され、16年間に軍務に服しました。終戦後、38歳でようやく秋田商業教諭に戻ります。

1958～69年秋田商業第4代校長(在任11年)。言葉遣いは誰に対しても優しく穏やかで、講話の名人でもありました。



【 剣道 全国優勝 】 1958(昭和33)8月、全国高校剣道大会で優勝(3年ぶり、3回目)。

開催地は秋田市の山王体育館でした。

OBの渡辺茂(高4期)はいつも自店製の納豆を食べきれないほど差し入れて「ナット先輩」と呼ばれていました。



【柔道 全国準優勝】 1960～61(昭和35～36)年 全国高校柔道大会 2回連続 準優勝。



昭和35年大会(札幌)。三重・大分・大阪・茨城・広島・京都に勝ち、決勝で福岡・久留米商業に敗れ準優勝。

昭和36年大会(鳥取)。静岡・群馬・兵庫・福島・鹿児島に勝ち、決勝で福岡・南築高校に敗れ準優勝。

佐藤忠美監督(写真後列右端)の指導は厳しく、朝練習・昼練習、土の上でも練習したといわれます。

柔道部部长は堀江光雄教諭(秋20期)(写真後列左から2人目)。あだ名は「野象(やぞう)」。簿記の授業は懇切丁寧で、「わかりましたな」というのが口癖でした。

【甲子園 ベスト4】 1960春・夏～1961春・夏、4回連続甲子園に出場。

1960(昭和35)年春には、順々決勝で、優勝候補といわれた慶應高校を延長11回で破り、続く準決勝で米子東高校に2対0で惜敗、ベスト4となりました。このベスト4が、現在に至るまで、秋商の甲子園最高記録です。



右は古城敏雄(高4期)。1957～67年秋商野球部監督。専修大学、秋田経済大付属高でも監督をつとめました。



左は今川敬三(高13期)。

準決勝での今川投手の投球数74球は甲子園最少投球数記録として現在も破られていないといわれます。小柄だったため「小さな大投手」と呼ばれました。

早稲田大学に進み東京6大学野球で活躍。卒業後、秋商野球部監督となります。あだ名は「軍(ぐん)」。 「軍チョップ」という必殺技がありました。

1970年と1975年、監督として甲子園に出場。

1976(昭和51)年6月18日交通事故で急逝します(33歳)。

野球部主将・武藤一邦(高28期)は次の弔辞を述べました。

「監督さん見ていてください。私達は必ずやってみせます。あの甲子園の大空に、監督さんも必ずおいでください。」(秋商新聞 S51・7月)

その言葉通り、秋商は1976(昭和51)年8月、甲子園に出場。1回戦・宇部商業を破り、2回戦・天理高校に4対5で惜敗。

【秋田国体】

1961(昭和36)年10月、秋田国体が開催されました。会場エリア内にあった秋商は、この年の運動会も文化祭も取りやめて国体に全面協力します。

生徒たちは、開会式での12,000個の風船と3,000羽のハトを飛ばし、47都道府県の旗を保持し、その他様々な裏方を担いました。



【生徒会 女子力】



1963(昭和38)年、生徒会に初の女性副会長が誕生します。高田操(高15期)(写真左)です。

1994(平成6)年、初の女性生徒会長が誕生します。菅原千佳子(高46期)(写真右)です。高田操から31年後のことでした。

「…このまま普通の高校生活を送っていて、自分には心にずっと残っていくような思い出が、果たしてできるのだろうか、そんな疑問を抱き始めていた時、私の目に飛び込んできたのが『生徒会長』という文字でした。これだったらどんなに困難でも、絶対にいい思い出を残せるに違いない。……先生にそのことを打ち明けたところ、先生は一瞬あつげにとられたようでした。」(菅原千佳子(「80周年記念誌」))



2017(平成29)年、安保夏海(高69期)(左写真)は、この年秋田市で開催された「全国産業教育フェア秋田大会」(参加者10万人)の生徒実行委員長をつとめました。

高田操から54年後、菅原千佳子から23年後のことでした。ちょうど祖母、母、娘、といった歳まわりです。

2019(令和1)年現在、女子生徒は全体の55%を占めています(全体714人。女子396人・男子318人)。

【サッカー全国優勝】 1967～68(昭和42～43)年、2年連続全国優勝。

1967(昭和42)年1月、決勝戦の相手、東海代表・藤枝東高校の攻撃はすさまじく、合計29本ものシュートを放ちます(秋商のシュートは5本)。しかし秋商の守りは堅く、延長・再延長合計120分を守り抜き、引き分けのまま両校優勝となりました。

右写真は試合後両校主将の握手。さすがに二人とも疲れ果てた様子です。右はゴールキーパーの外山純(高18期)、のちに秋商第17代校長となります。

下写真左端で旗を持っている石黒俊郎監督(高4期)はのちに秋田市教育長となります。



1968(昭和43)年、広島インターハイでも優勝を果たします。監督は新任の鎌田満(高11期)でした。

秋田駅では500人を超える人々が凱旋する選手たちを出迎えました。

【 内山 真 】 内山真は、大正3年長野市生まれ。秋田商業に剣道教師として赴任。戦後、サッカー部を創設。スポーツ再建10年計画を推進。1969～1975年秋田商業第5代校長。

校長就任後まずやったのは、男子生徒の長髪禁止の解除でした(当時は全員丸刈り)。

「入学して間もないひとりの生徒が退学した。その理由が、どうやら本校が長髪を許可しないことらしい。せっかく入った生徒を、そのようなささいな理由で退学に追いやったり、また本校志望者の中にそのような理由で志望を断念した生徒がおったなら、本校にとって大きな損失である。」(秋商新聞・昭和44年6月「内山新校長先生に聞く」)



【 オリンピック金メダル 】

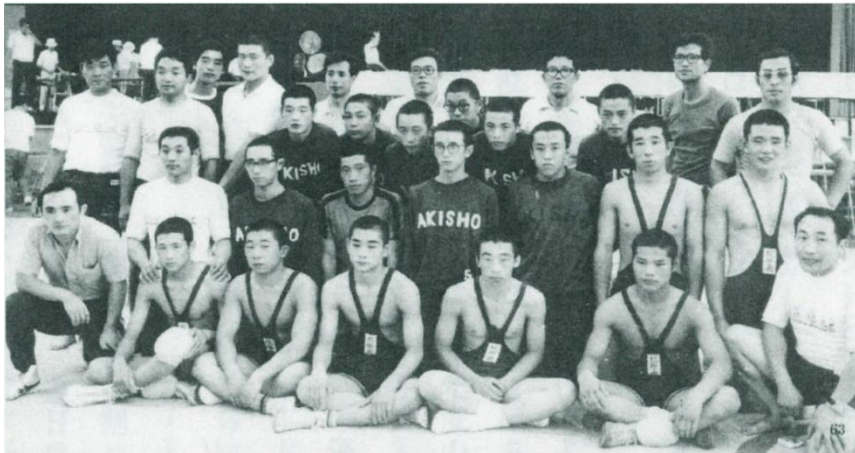
1972(昭和47)年ミュンヘンオリンピック、レスリングで、柳田英明(高17期)が金メダルを獲得しました。

「フリー57kg級に出場。ミュンヘンでは減量に苦しみ、試合前の3日間をジュースを飲むだけという状況で本番に臨み、7試合を全勝して金メダルを獲得した。

オリンピックの試合会場のウォーミングアップ場で大いびきをかいて眠りこけ、外国人選手がその度胸のよさに恐れをなしたという。

柳田の活躍を見ようと地元の関係者や住民たちが大勢駆けつけ、金メダルを獲得した直後、実家の床が抜けたという逸話もある。」

【 レスリング インターハイ優勝 】



1973(昭和48)年8月、三重インターハイで初優勝。

左端立膝は柳田英明。
右端中段は太田章。

後列左4人目は茂木優。
その右は高山修一。

後列右4人目は杉田秀夫。



【 軟式野球全国優勝 】

1975(昭和50)年10月三重国体で軟式野球部が全国優勝します。剣道・サッカー・レスリングについて4番目の全国優勝です。高27・28期の選手たちによって成し遂げられました。

軟式野球部はなかなか部員が集まらず、試合のたびによりやく9人をそろえて、なんとか棄権を免れるという状態が何年も続きます。

さらに、正規の練習場がなく、あちこちのグラウンドを転々とし、または合宿して朝4時から練習し、朝食後学校で授業ということもしばしばだったといわれています。

1978(昭和53)～ 勝平校舎の時代

【 勝平校舎建設 】

1970(昭和45)年に50周年記念事業を行った「創立50周年記念事業実行委員会」は、今度は「校舎改築促進期成同盟会」と名前を変え、雄水会会長鈴木節夫(秋8期)(右写真)を中心に新校舎建設に向けて運動を展開します。



1978(昭和53)年秋、新屋勝平の校舎が完成しました。敷地面積は約21,000坪で、八橋(9,600坪)の倍以上の広さです。



1978(昭和53)年10～11月、八橋校舎からの引っ越しが、全職員・全生徒・日本通運とが一体となって、綿密な作業手順のもとに実施されました。実験道具など壊れやすいものは、生徒たちが手に持ってバスに乗ったそうです。

(航空写真は2000年・創立80周年で撮影)



【 図書移転 】 図書の移転は1978(昭和53)年10月に行われました。

※下は八橋校舎の図書室

図書15,000冊の運搬は10月中に完了します。しかし大変なのはここからで、カードと実在図書との照合という大仕事がありました。檜山→廃校→茨島→八橋と移る間にかなりの紛失があった筈ですが、その確認作業はこの32年間行われていませんでした。

柴田貞治教諭・大谷裕子教諭・司書の佐藤ヤエ先生の3人は、15,000枚のカードと実在図書との照合という極めて困難な作業に着手。図書委員の生徒たちとともに連日作業を続け、翌年3月末に完了します。「図書委員の活動には優勝も準優勝もありません。」(大谷裕子)



【合気道部】 1978(昭和53)年合気道部設立。



平成21年8月15日

1969(昭和44)年に赴任した平岡優教諭(右写真)によって合気道愛好会(のち同好会)が誕生しました。合気道は試合をせず、もっぱら稽古によって自己の向上をはかる武道で、「戦績」はなく、そのため秋商では異色の存在でした。

勝平校舎建設とともに道場を獲得して「部」に昇格。その後、全国の演武会に積極的に参加し、毎年30～40人の部員が稽古に打ち込みました。

2013(平成25)年、部員の減少により廃部となりましたが、この間44年、300余名が巣立っています。



【甲子園 3回連続出場 ベスト8】 1979～80年、3回連続甲子園に出場。

1980(昭和55)年春は準々決勝で帝京高校と対戦。0対2で惜敗。ベスト8。



右は三浦第三(高10期)。
1978～95年秋商野球部監督。
大館商・大曲農・秋田経法大・
明桜高でも野球部監督を務めました。

左は高山郁夫(高32期)。

「入学して野球部に籍を置いた3年前は、ひよろひよろで吹けば飛ぶような体であった。当然、猛練習にはついていけず、何度やめようと思ったかしかない。／なぜこんな苦しいことを続けなければならないのか、と思ったことは数知れない。練習をさぼったことも何回となくある。

自分には怪我がつきまとったとはいえ、みんな自分を励ましてくれた。勇気づけてくれた。今の自分があるのも、仲間がいたからこそだ。」高山郁夫(「蒼穹20号」1981年3月)



【サッカー ベスト4】 1986(昭和61)年・1987(昭和62)年、全国高校サッカー選手権大会で2年連続ベスト4。

1973年外山純(高18期)新監督就任。1973年ベスト8、81年ベスト16、86年ベスト4、87年ベスト4、90年ベスト16。



この頃秋商は過去最多出場回数を誇る、まさに「強豪・古豪」でした。マナーにも定評があり、試合後選手控室を塵一つなく清掃していったのは秋商だけだったと言ったといわれています。



【レスリング オリンピック・メダリスト】 太田章(高27)と佐藤満(高31)がメダルを獲得しました。

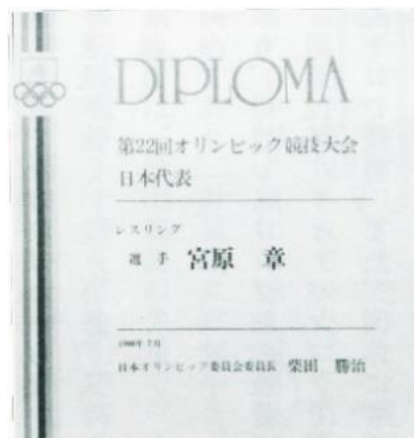


柳田英明(高17)

1972ミュンヘン五輪で金メダル。

現在八郎潟町で酒店を営みながらレスリング教室で青少年を指導しています。

右は宮原章(あきら)(高22)の1980モスクワ五輪代表選手証明書。メダル有力候補といわれていましたが、日本がボイコットしたため、出場できませんでした。



太田章(あきら)(高27)。

1984ロスアンゼルス五輪で銀メダル。

1988ソウル五輪で銀メダル。

ソウルでは31歳で肋骨を骨折しながらも決勝に臨み、「ネバーギブアップ」が日本中で流行語になりました。

現在早稲田大学教授。

秋商時代は生徒会長もやりました。



佐藤満(みつる)(高31)

1988ソウル五輪で金メダル。

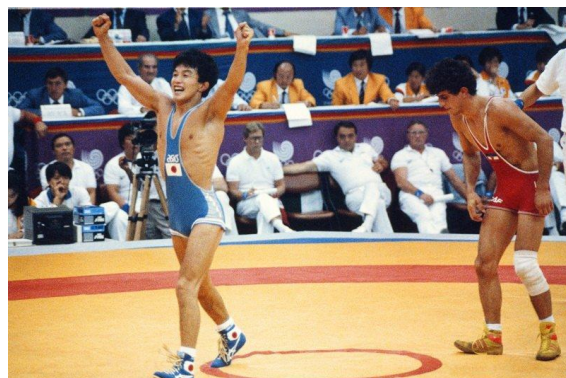
同年秋田県民栄誉賞受賞。

2008～13年日本レスリング協会男子強化委員長。

現在専修大学教授。

柳田英明と同じ八郎潟町出身。

中学時代はバスケットボール選手でした。



【記念碑】 1990(平成2)年、70周年の年に記念碑が建立されました。場所は秋田市檜山南中町1-59檜山緑地。

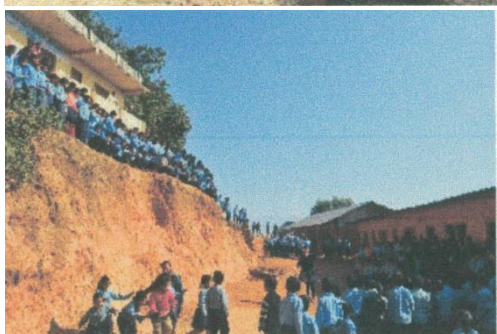
1919(大正8)年に武藤三治という人物が寄贈したこの土地に、最初の秋商校舎が建てられました。

「心の故郷秋商 秋田商業発祥の地」と刻まれています。揮毫は書家小玉武(秋4期)。



【 帽子・カバン 】 1990(平成2)年頃から、帽子とカバンの自由化をめざして生徒会が動き始めます。

「学帽はいらないんじゃない?」、「学生カバンはとっても不便、ほかのバッグはなぜダメなの?」というごく普通の疑問からスタートし、たくさん話し合いや手続き作業が数年にわたって継続されました。そして、1992(平成4)年に学帽が、1995(平成7)年に通学カバンが自由化されました。 ※下の写真は自由化前の登校の様子



【 海外交流 】 1993年にアラスカ、パッサウ、1994年に蘭州、アラスカ、2009年にカンボジア、2010年にウガンダ、2012年にネパールとの海外交流が行われました。2008年に「馬場賞」、2011年に「ESD大賞」を受賞しました。



【 トレーニングセンター 】 1996(平成8)年、トレーニングセンターが建設されました。



建物は秋田市が建設。内部のトレーニング機器は雄水会から寄贈されました。

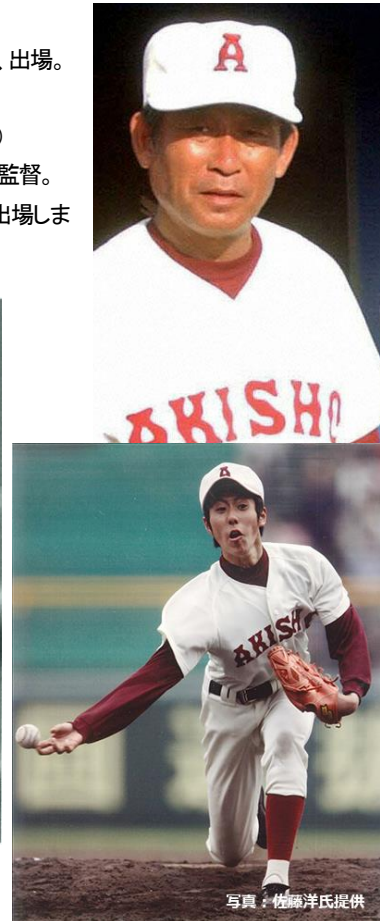
【 甲子園 ベスト8 】 2004(平成16)年と・2006(平成18)年甲子園ベスト8。
1997年夏、2000年夏、2002年夏、2004年春、2004年夏、2005年夏、2006年春、出場。



上は石川雅規(まさのり)(高49期)。
1997年夏の主力投手。現在東京ヤクルトスワローズ。

右は佐藤剛士(つよし)(高56期)。
2004年春の主力投手としてベスト8。
卒業後広島カープ入団。

右は小野 平(たいら)(高19期)
1995～2008年秋商野球部監督。
この間なんと7回も甲子園に出場しました。



右は佐藤洋(よう)(高58期)。2006年春の主力投手としてベスト8。

【 雄水会報(新聞版)発行 】

2006(平成18)年10月、雄水会報(新聞版)が発行を開始しました。

それ以前の会報は冊子版で、雄水会役員のものに配布されていました。それは従来、雄水会には「会費」がなく、会の運営費はもっぱら「役員負担金」という寄附にたよっていたからです。しかし時代とともにその収入は減少し、会の運営に支障をきたすようになりました。

そこで(他校の同窓会と同じように)雄水会も全会員からの「会費」で運営しようということになり、その呼びかけのツールとして新聞版の雄水会報が全会員(1万余名)に発送されました。



【 全国マーチングコンテスト 】

1953(昭和28)年に吹奏楽部ができますが、当初は運動部の応援が主な活動でした。その後、県民会館などで演奏会を開くようになります。



1980(昭和55)年全国マーチングコンテストで初めて銅賞となり、その後9回、銅賞を獲得しています。

1991(平成3)年銀賞。
2008(平成20)年銀賞。
指揮者は池田孝幸教諭



【レスリング全国優勝】

レスリング部は3大会連続優勝しました。
2006(平成18)年・全国高校選抜・初優勝。
2006(平成18)年・インターハイ優勝(2回目)
2007(平成19)年・インターハイ優勝(3回目)



レスリング部監督・鈴木信行(高38期)。



茂木優(高21期)。1976モントリオール五輪8位。1978年からレスリング部監督。のち秋商教頭、西仙北高校校長。

2013には女子部員も入部しました。(左)



杉田秀夫(高7期)。草創期から秋商レスリングの指導を続けました。
1979年に自宅を改装して「体力づくり教室 杉田道場」を開設。以来40年以上、多くの子供たちにスポーツの魅力を伝えています。

「スポーツでいま勝つことはそれほど重要なことではない。休まない、辛い練習に堪える、負けて頑張る、そして考える、これらのことが一番大事である。

長い人生、何があるか分からない。将来あるこの子供たちが、広い荒波に投げ出された時、充分勝ち残ることができるよう祈っている。」杉田秀夫(「杉の子だより」)

【軟式野球部 ベスト4】

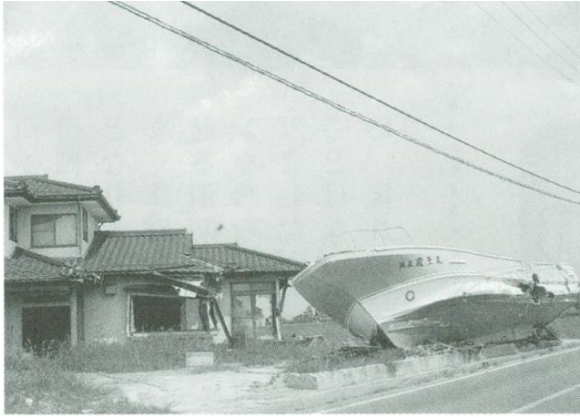
2013(平成25)年8月、全国高校軟式野球選手権大会で準決勝まで進み、愛媛県新田高校に5対3で惜敗、ベスト4となりました(1960年以来実に53年ぶりのベスト4です)。

この年9月の東京国体でも準決勝まで進み、鹿児島工業高校に4対3で惜敗、3位入賞。

エース小野寺貴也(高65期)をはじめ、高65・66期の選手たちが活躍しました。



【 東日本大震災 】 2011(平成23)年3月11日、東日本一帯に大地震が発生、大津波が沿岸部を襲いました。



伊藤大(高36期)さんは家族とともに仙台市内の避難所にいましたが、間もなく、秋商野球部同期の3人が、秋田から物資を満載して駆けつけてくれたそうです。

下は震災当日の塩釜の様子。村田正宜氏(高19期)撮影。

雄水会宮城支部長の宇佐美公昭氏(高11期)は、震災直後、雄水会名簿をもとに宮城県内各地の会員の安否確認を試みしました。その結果、土15期(昭和12年卒)の富永三郎さんと、別の会員の家族の方1名が津波で犠牲になられたことが分かりました。(写真は宇佐美氏撮影)



【 甲子園 ベスト8 】 硬式野球部、2015(平成27)年夏の甲子園でベスト8。



成田翔(かける)投手(高67期)。現在千葉ロッテ。

秋田大会の決勝戦では秋田南を相手に4対0、無四球、9奪三振の完封勝ち。

甲子園では、2回戦・佐賀龍谷に3対1、3回戦・群馬健大高崎に4対3で勝利。準々決勝・仙台育英に3対6で惜敗。ベスト8。秋田県民を大いに沸かせました。



右は太田直(すなお)(高49期)・2008年より野球部監督。



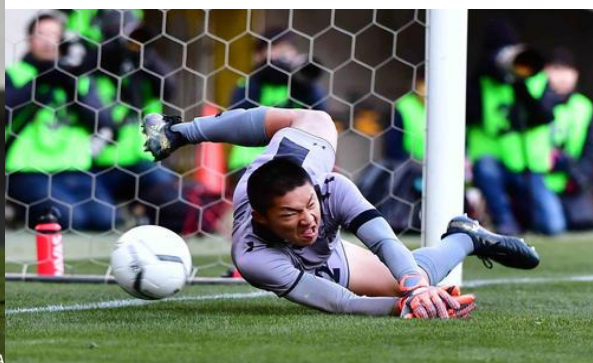


(左から穂積秋田市長、鈴木雄水会会長、鎌田秋商校長)

【 サッカー ベスト8 】 2019(平成31)年1月全国高校サッカー選手権大会準々決勝に進出(公立高校で唯一)。

対戦相手は流通経済大柏。0対1で惜敗。ベスト8。

※写真はブログ「0014」、「蹴球観戦時々日常」などより



小林克(かつ)(高43期)。
2014年よりサッカー部監督。



【ビジネス実践】 2002(平成14)年に「ビジネス実践」がスタートします。

これは、柴田昭二校長、外山純教頭(高18期・のち17代校長)、山脇聡教諭(高30期・のち23代校長)らによって編み出された秋商オリジナルのプロジェクトで、学校全体をひとつの商社とみなし、教職員と生徒が社員となって活動する、というものです。

「事業部」・・・各地の名産品を調査し、取り寄せて販売。

「開発部」・・・企業とコラボして商品を開発。

「宣伝部」・・・広告宣伝全般。CMソングも作る。



その活動を通じて、生徒たちが自分の頭で考え、自分の意志で行動しながら、問題を乗り越えていく喜びを体験してもらおうというわけです。

上はそれぞれのチームが、自分達の企画をプレゼンしているところ。本気で考えたユニークなアイデアが求められます。

【アキンド・ストリート・フェスティバル】 2002～2005年、通町商店街・大町商店街の全面的な協力で開催されました。

教室で頭で考えたことを商店街で実際にやってみたらどうなるか、わくわく・ドキドキの実践です。思いもよらない障害や、ちょっとやばい事件や、簡単には解決できそうもない問題など、教師も生徒も手ごたえ十分でした。

【Akishop】

2006(平成18)年に名称を「Akishop」に変更し、以後毎年、秋田駅西口大屋根下、アゴラ広場、ぼぼろ一ど、アルヴェ、市民市場などで行っています。



はじめは自動販売機のようなだった生徒が、慣れてくるとだんだん「あきんど」になっていきます。

「もの」を売っているけれど、実は「もの」を通じて人と人がつながっていくんだ、ということを知った人が「あきんど」になるのです。

右は2020年の商品ラインナップです。

市場調査をして商品企画書を作り、その後、実際の企業の人に来てもらって企画検討会をやりますが、ここでプロから厳しいダメ出しを浴びます。

原価が高くて赤字になると言われ、最初から考え直しを迫られます。やっと製造を引き受けてもらえても、その後何度も試作を繰り返し、価格や制作個数について、何度も打ち合わせを重ねます。妥協は許されません。

【秋商経済ゲーム】

2005年、山脇聡教諭を中心に「秋商経済ゲーム」が開発されました。チャレンジ精神・コミュニケーション能力・決断力を高めるためのプログラムで、イギリスのクリスチャン・エイドが作った「貿易ゲーム」をベースにしています。このゲームを通じてアントレプレナー（起業家）を育てることが目的で、それは地域社会の中核である学校の大切な役目でもあります。

この「秋商経済ゲーム」は千葉商科大学の中澤興起先生が引き継ぎ、「キッズビジネスタウン」の原型となっていくます。

【キッズビジネスタウン】

小学生に社会のしくみを体験させようというイベントです。2008年に始まり、会場は秋商のほか、県立体育館や土崎セリオンなどで、毎回約300人の小学生が参加します。

子供たちはまず「ハローワーク」コーナーで、自分がやりたい仕事を選びます。パン屋・クレープ屋・ハバヘラアイス・花屋・アクセサリー工房・おもちゃ店・ネイルサロン・アスレチック・結婚式場・新聞社・テレビ局・病院・清掃員・消防署・警察などいろいろあります。

次はそこに「就職」して実際に仕事をします。社長は高校生です。ひと通り仕事ができたら給料（「通貨」）がもらえます。この「通貨」はあちこちのお店で使うことができます。清掃員として校内のごみを集めて給料をもらい、そのお金でアイスを買って食べるというわけです。

さらに、給料をもらったら税金も納めなくてはなりません。税務署コーナーへ行って納税するのです。

このような活動から子供たちは社会の仕組みを体験します。また、高校生も社会における自分の役割を学びます。




AKISHOP
 商品ラインナップ

販売会場				
秋田駅西口大屋根下		A		
秋田市民市場		B		
ぼほろーど		C		
※会場は表紙会場内図で確認ください				
ヤマコのおしりパーム樹の協力商品 AKISHO油SOBA 350円	たけやね/ハネの協力商品 商チータッカルビ 250円	たけやね/ハネの協力商品 ハムッと100パン 100円	たけやね/ハネの協力商品 ふむちオレンジ/パティス 100円	秋田米穀商の協力商品 相模カレー 450円
秋田米穀商の協力商品 稲庭焼うどん 400円	せきや楼の協力商品 ヤンニョムチキン 450円	せきや楼の協力商品 秋商トルティーヤ 350円	せきや楼の協力商品 肉巻きおにぎり棒 330円	せきや楼の協力商品 グリルサンド 400円
もちこ 300円	せきや楼の協力商品 グラタン風マフィンサレ 250円	せきや楼の協力商品 アカシロン 300円	せきや楼の協力商品 ずんだーナツ 200円	せきや楼の協力商品 塩キャラカーヘン 250円
でっかいクリクリケーキ 320円	えだいもチュロス 220円	さつまいもタルト 250円	PURIRIN 350円	さくさくオレンジパイ 200円
AKISHOPッせ (いちご・抹茶) 150円	ゴロッ!ふわっ!ポテト 150円	いち子のカステラ 260円	ココアにサンドされました 230円	まっちゃんまいロールケーキ 360円
もちちゃん 170円	秋商サブレ 200円	栗いむどらやき 200円	ハマチャウカステラ 550円	アップルパイ 280円
天使か悪魔か!セレクトタルト (苺・チョコ・抹茶・りんご) 200円	あまーいりんごころ焼き 200円	のびーる!チーズどら焼き 200円	きりたんぽスープ (まろやか豆腐・味噌・ピーマン・タマネギ) 550円	コーヒードーナツ(100個) 500円
ガラスのコップ PB 2,500円	ガラスの箸置き PB 600円	ソーマキューブ PB 500円	アイロンビーズ PB 100~300円	ミサンガ 300円

●国産/あんこもち 630円 ●アボカド/塩バタークッキー 180円 ●アーモンドケーキ 230円 ●おかしにのこり/なまはけのおくりもの 130円
 ●あちこち/あちこち/あちこち(プレーン) 450円 ●生もち(塩・味噌・醤油・プレーン) 350円 ●生もち(チョコチップ) 410円
 ●大龍市観光協会/秋田大花(パッチ) 100円、秋田大(パッチ) 540円

※会場は全店共通です。※当日の価格と数量が多量な場合は変更になる場合があります。ご了承ください。



【 歴代校長 】



初代校長 黒沼義介
1920(大正9)～13年間



第2代校長 皆川 一
1933(昭和8)～18年間



第3代校長 潮田 潔
1952(昭和27)～6年間



第4代校長 高橋政雄
1958(昭和33)～10年間



第5代校長 内山 真
1969(昭和44)～6年間



第6代校長 熊谷清三郎
1975(昭和50)～2年間



第7代校長 木村賢一
1977(昭和52)～3年間



第8代校長 小林市夫
1980(昭和55)～5年間



第9代校長 須藤吉雄
1985(昭和60)～2年間



第10代校長 笹村健明
1987(昭和62)～4年間



第11代校長 伊藤昭夫
1991(平成3)～3年間



第12代校長 鈴木和男
1994(平成6)～2年間



第13代校長 加賀谷俊雄
1996(平成8)～2年間



第14代校長 佐藤文夫
1998(平成10)～3年間



第15代校長 柴田昭二
2001(平成13)～3年間



第16代校長 熊谷 均
2004(平成16)～2年間



第17代校長 外山 純
2006(平成18)～3年間



第18代校長 熊谷隆益
2009(平成21)～2年間



第19代校長 進藤 隆
2011(平成23)～3年間



第20代校長 鎌田 勝
2014(平成26)～2年間



第21代校長 佐藤 武
2016(平成28)～2年間



第22代校長 石井 潔
2018(平成30)～2年間



第23代校長 山脇 聡
2020(令和2)～1年間

※秋商OBIは、高橋政雄(秋1期)・小林市夫(秋19期)
外山純(高18期)・山脇聡(高30期)の4人です。

【東京雄水会】

東京雄水会は1935(昭和10)年に発足しましたが戦争により中断。1971(昭和46)年以後は毎年総会を開催し、1983(昭和58)年には178名参加の記録もあります。総会は毎年6月中旬に開催されています。組織上は秋商雄水会東京支部です。



母校選手が関東の大会に出場すれば熱心に応援に駆け付け、また趣味の会やハイキングなどの他、首都圏の他校の同窓会とも連携して様々な活動を展開しています。

東京雄水会ホームページは雄水会本部よりも内容が充実していると評判です。

左は東京雄水会役員の皆さん。

現在

会長・越前谷千秋(高18期)。

幹事長・佐藤政雄(高21期)。

【秋商雄水会】

1925(大正14)年第1期生によって同窓会が結成され、1929(昭和4)年に校歌の歌詞をとって「雄水会」と称しました。

初代会長

2代

3代

4代

5代

6代

7代



黒沼義介校長

皆川一校長

佐々木惣一郎(秋1)

鈴木節夫(秋8)

藤井茂(秋19)

米澤寛(高8)

鈴木茂夫(高11)

会員数は約13,000人(100年間の卒業生合計約21,400人のうち住所がほぼ判明している方が約13,000人)。

各地の支部は、東京・近畿・宮城・男鹿・本荘由利・八郎湯・昭和・潟上天王・五城目・西仙北・大曲・土崎・市役所・北都銀行。

総会は毎年7月中旬に開催されます。毎年1月中旬に開催される「秋商雄水会新年賀詞交歓会」は、500～700人が参加する秋田市の名物行事となっています(下写真)。



【後記】「写真が語る秋商100年」は次の文献がもとになっています。

秋商雄水会発行「秋商百年史」(2019)、「黒沼義介先生伝」(1990)、「秋商創立70周年記念誌」、「同80年誌」、「同90年誌」、「雄水会報80周年記念号」、「雄水会報」、「東京雄水会会報」金沢勉著、「伝統は生きている」(1968 サンケイ新聞社秋田支局)、学校要覧など。

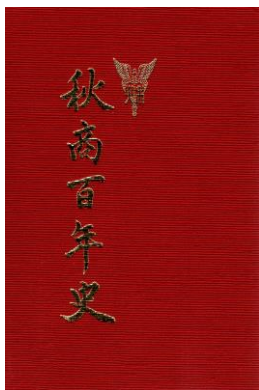
秋商略年表	秋商の主な出来事	社会の主な出来事
1919 (大正8)	7・11 秋田市議会が秋田市商業学校設立を議決	
1920 (大正9)	4・25 開校式。この日が開校記念日。	1・10 国際連盟発足
1923 (大正12)		9・1 関東大震災
1924 (大正13)	4・25 校舎落成式。落成記念「秋商即売会」(バザー)	
1925 (大正14)	3・11 第1期卒業式(51名卒業) 8・20 甲子園に初出場。1回戦、敦賀商業に惜敗	4・22 治安維持法公布
1926 (昭和元)	9・27 秋田中学との野球試合後、両校応援団衝突	12・25 大正天皇崩御、昭和と改元
1927 (昭和2)		3・15 日本金融恐慌
1928 (昭和3)	4・5～10 ストライキ事件	
1929 (昭和4)	10・ 校歌制定(作詞・岩谷嘉市、作曲・成田為三)	10・24 ウォール街大暴落世界恐慌
1931 (昭和6)		9・18 満州事変
1932 (昭和7)	6・5 満鮮修学旅行	5・15 5・15事件
1933 (昭和8)	9・9 黒沼義介初代校長退任。2代校長に皆川一就任。	3・27 日本が国際連盟を脱退
1933	9・24 全国中等学校剣道大会(東京)初優勝	
1935 (昭和10)	8・18 甲子園・ベスト8 11・ 東京雄水会発会式	美濃部達吉、天皇機関説事件
1936 (昭和11)		2・26 2・26事件
1937 (昭和12)	同窓生の応召、次第に増える	7・7 蘆溝橋事件、日中戦争開始
1941 (昭和16)		12・8 真珠湾攻撃、太平洋戦争勃発
1942 (昭和17)	4・1 土崎商業学校と合併	6・5 ミッドウェー海戦
1943 (昭和18)	勤労動員始まる。野球・庭球・スキー・陸上、廃部。	
1944 (昭和19)	3・ 秋商、生徒募集を停止。昭和21年度で廃校と決定。	
1945 (昭和20)	4・ 秋田県立女子医学専門学校に校舎を譲渡	8・ 原爆投下、敗戦
1946 (昭和21)	4・1 秋田市商業学校として復活、新入生募集 9・5 茨島校舎へ移転作業開始。	5・3 極東国際軍事裁判開始
1947 (昭和22)		5・3 日本国憲法施行
1948 (昭和23)	4・1 新制高等学校「秋田市立商業高等学校」に昇格 4・10 女子生徒4名入学 11・3 文芸部誌「あかしや」創刊	7・17 大韓民国樹立 9・9 朝鮮民主主義人民共和国樹立
1950 (昭和25)	4・14 初の生徒会役員選挙 4・30 創立30周年記念式典(秋田県記念館)	6・25 朝鮮戦争勃発
1951 (昭和26)		9・8 日米安全保障条約調印
1952 (昭和27)	3・31 皆川一校長退任。3代校長に潮田潔就任。	5・1 血のメーデー事件
1953 (昭和28)	1・ サッカー、全国高校選手権・ベスト8	7・27 朝鮮休戦協定
1955 (昭和30)	4・1 定時制課程設置 8・10 全国高等学校剣道市内競技大会・優勝	4・18 アジア・アフリカ会議 11・15 自由民主党結成
1956 (昭和31)	サッカー、全国高校選手権・準優勝	12・18 日本、国連加盟
1957 (昭和32)	3・ 八橋新校舎完成。移転作業開始。	1・29 南極昭和基地設営
1958 (昭和33)	1・6 サッカー、全国高校選手権・初優勝 5・31 潮田潔校長退任。4代校長に高橋政雄就任。 8・10 全国高等学校剣道大会(秋田市)・優勝	3・3 スパル360発売 8・20 八郎潟干拓開始 12・23 東京タワー完成
1959 (昭和34)		1・1 キューバ革命
1960 (昭和35)	4・7 春の甲子園・ベスト4 熊本国体で、サッカー準優勝、軟式野球準優勝	6・19 日米安保条約自然承認 7・19 池田勇人内閣発足
1961 (昭和36)	4・1 校名を「秋田市立秋田商業高等学校」と改称 10・8～13 秋田国体で秋商大活躍 硬式野球3位・ 軟式野球3位・サッカー3位・レスリング1位	1・20 JFケネディ米大統領就任 4・12 ソ連、初の有人宇宙飛行
1962 (昭和37)	9・29 第1回秋商祭(文化祭を「秋商祭」と改称)	8・12 堀江謙一太平洋横断
1963 (昭和38)	4・1 生徒定員900名(1学年6学級編成)	11・22 ケネディ大統領暗殺

秋商略年表	秋商の主な出来事	社会の主な出来事
1964 (昭和39)		10・10 東京オリンピック開催
1966 (昭和41)	8・17 サンケイ新聞「伝統は生きている」連載開始	中国文化大革命～1977
1967 (昭和42)	1・7 サッカー、全国高校選手権・優勝（2度目） 1・13 商業科新特別教室棟、完成	
1968 (昭和43)	8・4 サッカー、広島インターハイ（高校総体）優勝 8・ サッカー部、日韓高校スポーツ交歓競技会出場	10・17 川端康成ノーベル文学賞 12・10 3億円強奪事件
1969 (昭和44)	3・31 高橋政雄校長退任。5代校長に内山眞就任。 5・8 男子生徒の長髪許可決定（職員会議）	7・20 アポロ11号月面着陸
1970 (昭和45)	10・2 創立50周年記念式典（県民会館）	3・14 日本万国博覧会（大阪）
1971 (昭和46)		6・17 沖縄返還協定調印
1972 (昭和47)	8・ 柳田英明ミュンヘン五輪レスリング・金メダル	2・3 札幌冬季オリンピック
1973 (昭和48)	8・3 レスリング、三重インターハイ・初優勝 サッカー、全国高校選手権・ベスト8	2・14 円変動相場制、移行
1974 (昭和49)		10・14 長嶋茂雄巨人軍引退
1975	3・31 内山眞校長退任。6代校長に熊谷清三郎就任。 10・29 軟式野球、熊野国体・初優勝 12・17 「雄水会報」（冊子版）創刊号発刊	4・30 ベトナム戦争、終結
1976 (昭和51)	6・18 今川敬三硬式野球部監督、交通事故で急逝 8・15 甲子園2回戦、天理高校に延長11回、4対5で惜敗	2・6 ロッキード事件
1977 (昭和52)		中国文化大革命終結
1978 (昭和53)	11・ 勝平新校舎完成。移転作業開始	6・12 宮城県沖地震
1980 (昭和55)	4・4 春の甲子園・ベスト8	7・19 モスクワ五輪日本不参加
1982 (昭和57)	3・3 定時制課程閉校	
1984 (昭和59)	8・ 太田章、ロス五輪レスリング・銀メダル	
1986 (昭和61)	サッカー、全国高校選手権・ベスト4	4・26 チェルノブイリ原発事故
1987 (昭和62)	サッカー、全国高校選手権・ベスト4	4・1 国鉄分割民営化
1988 (昭和63)	9・ ソウル五輪レスリング、佐藤満・金メダル、太田章・銀メダル	
1989 (平成元)		1・7 昭和天皇崩御。平成と改元。 6・4 中国天安門事件 11・9 ベルリンの壁崩壊
1990 (平成2)	10・16 「黒沼義介先生伝」刊行 11・5 創立70周年記念碑建立（楢山緑地公園）	11・17 雲仙普賢岳噴火
1991 (平成3)	全国マーチングコンテスト・銀賞	12・ ソビエト連邦解体
1992 (平成4)	1・ 学生帽着用自由化	
1993 (平成5)	6・3 アラスカ・キナイ半島郡青少年訪問団来校 8・17 パッサウ市青少年スポーツ交流団来校	5・15 「Jリーグ」開幕 6・9 皇太子殿下ご成婚
1994 (平成6)	初の女性生徒会長誕生 4・16 中国蘭州市青少年スポーツ交流団来校 9・10～20 アラスカ・キナイ半島郡へ生徒4名派遣	6・30 村山連立内閣、発足 9・20 イチロー200本安打
1995 (平成7)	学生カバン自由化	1・17 阪神・淡路大震災
1996 (平成8)	1・25 トレーニングセンター落成	3・22 秋田新幹線「こまち」運行
1998 (平成10)	4・ 新入生（高52期）6クラスとも男女共学クラスとなる	
2001 (平成13)		9・11 アメリカ同時多発テロ
2002 (平成14)	4・ 「ビジネス実践」学習スタート 9・28 ビジネス実践「あきんど ストリート フェスティバル」を 通町商店街で一般公開	4・6 学校完全週五日制、実施 10・15 北朝鮮拉致被害者5人帰国
2003 (平成15)	10・5 ビジネス実践学習（通町商店街）	
2004 (平成16)	4・1 春の甲子園ベスト8 11・11 ビジネス実践学習「Akishop」（アルヴェ・市民市場）	2・4 Face book開設
2005 (平成17)	11・5 ビジネス実践学習「Akishop」（アルヴェ）	4・1 個人情報保護法施行

秋商略年表	秋商の主な出来事	社会の主な出来事
2006 (平成18)	3・28 レスリング、全国高校選抜・初優勝 4・1 春の甲子園・ベスト8 8・3 レスリング、インターハイ優勝。33年ぶり2回目。 10・13 新聞版「雄水会報」第1号発刊 11・11 ビジネス実践学習「AKISHOP」(アルヴェ)	1・1 東京三菱とUFJ銀行合併 8・ 甲子園ハンカチ王子 9・26 安倍内閣発足
2007 (平成19)	8・3 レスリング、インターハイ優勝。(3回目) 9・29 秋田わか杉国体 11・10 ビジネス実践学習「AKISHOP」(アルヴェ)	7・16 新潟中越沖地震 10・1 郵政民営化スタート
2008 (平成20)	第19回馬場賞受賞 書籍『高校生のための国際協力入門』出版 全国マーチングコンテスト・銀賞 11・7 ビジネス実践学習「AKISHOP」(アルヴェ) 11・15 全国高校生金融経済クイズ秋田県大会・優勝	9・15 リーマンブラザース破綻
2009 (平成21)	グローバル教育コンクール2009優秀賞受賞 第11回拓殖大学国際協力・国際理解賞コンクール優秀賞受賞 A-styleアフリカ・スタディツアー実施(生徒4名) 書籍『高校生のための国際連合入門』出版 2・4 「かまくらん」ふるさとアイデア賞受賞 2・21 小林明日香・100m平泳ぎ高校新記録 9・18 国際交流会カンボジア生徒14名来校 11・14 ビジネス実践学習「AKISHOP」(アルヴェ他) 12・19 全国高校生金融経済クイズ秋田大会優勝 12・20 キッズビジネスタウン(秋商・御所野イオン)	1・20 米オバマ大統領就任 8・30 民主党鳩山内閣成立
2010 (平成22)	ユネスコスクール・ウガンダ研修(生徒4名) ネパールスタディーツアー実施(生徒1名) グローバル教育コンクール2010佳作 第12回拓殖大学国際協力・国際理解賞コンクール佳作 書籍『高校生のためのアフリカ理解入門』出版 ビジネス実践学習「AKISHOP」(アルヴェ他) キッズビジネスタウン(秋商・御所野イオン)	6・13 探査機はやぶさ地球に帰還
2011 (平成23)	ネパールスタディーツアー実施(生徒3名) 第2回ESD大賞 高等学校賞受賞 書籍『高校生のための地域環境問題入門』出版 ビジネス実践学習「AKISHOP」(アルヴェ他) キッズビジネスタウン(秋商)	3・11 東日本大震災
2012 (平成24)	ネパールスタディーツアー実施(生徒4名) 地球温暖化防止活動環境大臣表彰受賞 書籍『高校生のための1人1人によるESDの実践』出版 ビジネス実践学習「AKISHOP」(セリオン他) キッズビジネスタウン(秋商)	9・11 尖閣諸島国有化 12・16 民主党大敗、自民復活
2013 (平成25)	軟式野球、全国大会・ベスト4 ビジネス実践学習「AKISHOP」(セリオン) キッズビジネスタウン(秋商)	9・7 オリンピック東京開催決定 12・6 特定秘密保護法成立
2014 (平成26)	ビジネス実践学習「AKISHOP」(駅前他) キッズビジネスタウン(秋商)	7・1 集団的自衛権閣議決定
2015 (平成27)	8・17 甲子園・ベスト8 ビジネス実践学習「AKISHOP」(駅前他) キッズビジネスタウン(秋商)	5・6 箱根山噴火
2016 (平成28)	ビジネス実践「AKISHOP」(駅前他) 10・ キッズビジネスタウン(県立体育館)	4・14 熊本地震 11・9 米トランプ米大統領当選

秋商略年表	秋商の主な出来事	社会の主な出来事
2017 (平成29)	ビジネス実践学習「AKISHOP」(駅前他) キッズビジネスタウン(生涯学習センター) 11・23 人工芝グラウンド竣工	4・1 県人口100万人をきる 6・1 米、パリ協定離脱
2018 (平成30)	齋藤華南フェンシング・インターハイ優勝 ビジネス実践学習「AKISHOP」(駅前他) 10・20 キッズビジネスタウン(秋商)	7・5 西日本豪雨(死者220人) 11・19 日産ゴーン会長逮捕
2019 (令和1)	1・ サッカー、全国高校選手権・ベスト8 ビジネス実践学習「AKISHOP」(駅前他) 10・19 キッズビジネスタウン(秋商)	5・1 令和と改元 6・ 香港大規模市民デモ 12・4 中村哲医師アフガンで死亡
2020 (令和2)	4・ 「秋商100年史」刊行 10・3 秋商創立100周年記念式典(文化会館:延期) ビジネス実践学習「AKISHOP」(アルヴェ等) キッズビジネスタウン(中止)	1・ 新型コロナウイルス大流行
2021 (令和3)	9・11 秋商創立100周年記念式典(文化会館:予定)	

【 補足資料:秋商雄水会・教職員発行出版物等 】



【 秋商百年史 】



【著: 鈴木 節夫 雄水会会長】



【 著: 産経新聞秋田支局 】



【 著: 茂木 優 】



【 著: 高山 修一 】



【 著: 吉田 一雄 】



【ビジネス実践資料】



【 高校生のための国際活動 全4巻 】



【 部活動周年記念誌 】

